

科目名	ふじのくに学(お茶)				
開講時期	令和5年度 前期	開講時限	集中講義	単位数	2
科目責任者	中村 順行				
担当教員	ステファン・ダントン 他				
授業目標	集中講義と野外実習により、多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶を通じて地域に愛着や誇りを持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。				
授業概要	農学、作物学、生産から加工・流通までの多様な視点からお茶を総合的に学習する。				
授業方法	集中講義・フィールドワーク				
授業展開	<p>9月5、6、7、8日の4日間を予定（内容については、今後、変更する場合があります）</p> <p>第1日 静岡市内</p> <p>1 導入</p> <p>2 実習:お茶摘み、お茶づくり体験、茶工場見学</p> <p>3 実習:お茶の淹れ方講座</p> <p>第2日 ふじのくに茶の都ミュージアム</p> <p>4 講義「茶学概論、平地のお茶の生産・加工」</p> <p>5 講義「ふじのくに茶の都ミュージアムの役割とお茶の振興」</p> <p>ふじのくに茶の都ミュージアム館内見学・茶道体験</p> <p>6 講義「川根の茶業と生活、文化について」</p> <p>第3日 静岡県立大学</p> <p>7 講義「静岡茶の流通～過去から現在、そして未来へ～」</p> <p>8 講義「お茶の歴史と文化」</p> <p>9 講義「お茶の価値を高めるマーケティング」</p> <p>10 グループワーク「静岡の茶業が活性化するための展開の仕方」</p> <p>第4日 静岡県立大学</p> <p>11 講義「茶の機能と多用途利用」</p> <p>12 講義「外国人から見た日本茶」</p> <p>13.14 グループワーク「静岡の茶業が活性化するための展開の仕方」</p> <p>15 全体総括</p>				
履修条件	<p>全日程出席を必要とする。</p> <p>全学共通科目の「茶学入門」と一部重複するため、「茶学入門」履修者の単位認定はしない。受講は可能。</p>				
評価方法	課題レポート(各日のふりかえり、最終レポート)及び出席(1日でも欠席した場合は不可)				
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	参考書			
備考	<p>定員40名。</p> <p>ふじのくに地域・大学コンソーシアム単位互換協定校及び南大阪地域大学コンソーシアム広域単位互換協定校の学生を対象とする。</p> <p>「茶学入門」未履修者を優先する。</p> <p>学生負担金として、借上バス代等を徴収する。</p> <p>また、集合場所までの交通費及び昼食代については、参加者負担とする。</p>				
社会人聴講生	原則聴講不可		科目等履修生 履修不可		